

徳島県社保協運営委員会報告書

2021年8月27日（金）15:00～17:00 年金者組合事務所

出席／植本、山本、井上、楠藤、上村、伊藤、見渡 記録／松田

欠席／船越、富田、藤榮、竹田、穴吹、乾

■報告事項

1. 第1回社保協運営委員会

①情勢

- ・コロナ感染急拡大で医療体制ひっ迫している。臨時国会開き緊急の対策を検討すべき。
- ・最低賃金目安答申で、全国平均930円。全国一律1,500円には程遠い。

②協議事項

・第65回全国総会

合計84人参加（前回110人と比べ大きく減少。曜日の設定を変更すべきか）

・「いのち守る緊急行動」の取組：菅首相への手紙、SNS・マスコミを通じた発信、世論形成

※菅首相への手紙を赤旗と「健康と生活」に折り込み。労組からの反応現在26枚。徳島新聞の取材を受けた。

※（労組）ツイッターデモ2回取り組んだ。ツイッターの利用を。（「SNS活用のススメ」を資料として添付している。）

・75歳以上の窓口負担2割化署名の取組

・「新しいのち署名」への取組（書式が旧署名に似ているので、注意）

・9.5全国一斉行動

※本田先生の講演参加を民医連にも要請し、群馬などから参加の意思表示あった。

・高齢者大会プレ企画参加要請

・いのちまもる10・14総行動

・第4回中央社保学校（web）※8・28, 29徳島県民医連から2名参加

・いのちまもる緊急行動推進ニュース（5号）医師・看護師の増員と地域医療計画見直し要請

・8・27介護7団体による政党懇談会（web）

・8・28総選挙に向けた学習交流集会（web）

・日本高齢者大会inながのはwebのため参加人数が集まらないので組織してほしい。

・札幌生活保護課のポスター「生活保護の申請は国民の権利です」

・#いのちまもる10・14集会（日比谷野外音楽堂+web）

■協議事項

1. 9.5行動の進め方

【会場について】現状200人の会場に100人参加としているが、定員50人とする。

スクール形式で1テーブルに椅子1、会場受付は資料無料配布、本田先生の著書販売。プラカードを持参して写真撮影。

【web参加について】団体ごとに拠点をつくり、複数人で参加する人を募るほか、個人参加を募る。

【参加者動員について】 結びつきのある人に直接案内するほか、メールで案内を断続的に送る。
分かりやすい宣伝物を作成して配布する。

※取材のあった徳島新聞記者にも記事にしてもらうことを依頼している。首相への手紙の掲載もある（労組）

【運営について】 会場参加（井上、楠藤、上村、見渡、森口、伊藤）

【当日のすすめかた】

①受付で感染対策（消毒）、氏名記入、会場設定（看板など）

②司会：古川先生（主催者あいさつで、いのち署名が審議未了とされたこと、県民の総意を国
会が無視したことなど必ず言っていただく。県の担当者を招いているので聞いてもらう。）

③メイン司会は楠藤事務局長

④タイムテーブル 9:00 集合。搬入、セッティングと接続テスト（井上さん）

10:00 受付

10:30 開始 本田先生のはなし

　　県担当者の話（話の後残ってもらう）⇒県への本田先生の意見

　　古川先生と本田先生の対談（参加者からの質問は受け付けない）

　　行動提起（楠藤事務局長）

12:30 終了

【準備物】 機器；プロジェクター（2台）井上さんが手配

　　当日資料：労連でカラー印刷

　　著書注文 社保協で10冊購入 本田先生講師料2万（カンパ）井上さんが手配

　　非接触型検温器 地区委員会で借りる

【その他】

①徳島県に提出する要求書作成したい。エッセンシャルワーカーに定期検査を、など特別決議
したい。

②すべての衆議院議員候補者、現職国会議員に署名賛同を求める。

③「県民へのアピール」楠藤事務局長が作成

④自治体に参加呼び掛ける。秋のキャラバンは行わないので、議員に参加してほしい。
　　いのち署名をすすめる7団体共闘

⑤臨床研修病院の研修枠が削られ、医学部の定数削減とともに医者減らしの手段とされている。
　　健生病院は2年連続研修医ゼロ。大勢参加して医療の現状を知ってほしい。

【青少年センターが使用禁止になった場合】 保険医協会事務所または徳島労連の事務所を発信地として活用する。古川先生の発信地をどこにするか。司会アシスタントとして古川先生のフォローを楠藤温子さんか達田瑞穂さんにお願いする。

■次回運営委員会 日程 2021年9月24日（金）

時間 10:00



9.5 いのちまもる徳島県学習決起集会に100人が集まりました



9月5日(日)徳島県社保協主催のweb集会が開かれました。本田宏先生による医療講演「日本の医療崩壊をくい止める」～コロナ禍の医療現場からの警鐘と提言～では、歴史や数多くのデータを取り上げながら、1. 日本の医療体制の現実、2. なぜ日本の医療が崩壊したか、3. 公立・公的病院再編統合問題、4. 医療再生の处方せんの4つのテーマでわかりやすく解説されました。

また、徳島県保健福祉部医療政策課課長をお招きし、医師確保と養成方針等に関する県の取り組みについて報告されました。

厚労省は徳島県で 2023 年に 2016 年度比 30% にあたる 700 人の医師削減を計画してい



ます。医療崩壊を Stopさせ、徳島の医療を充実させるよう、県とも協力して医師・医療従事者の確保と待遇改善を求めていきましょう。

医療講演会の内容は YouTube 動画で下記の URL からご覧になります。

■本田宏先生講演【前半】

https://youtu.be/0fI8JxstU_o

■本田宏先生講演【後半】

<https://youtu.be/XOI-xAilJL0>

■医師確保と養成方針等に関する徳島県の取り組み
廣瀬和久課長 (徳島県保健福祉部医療政策課)

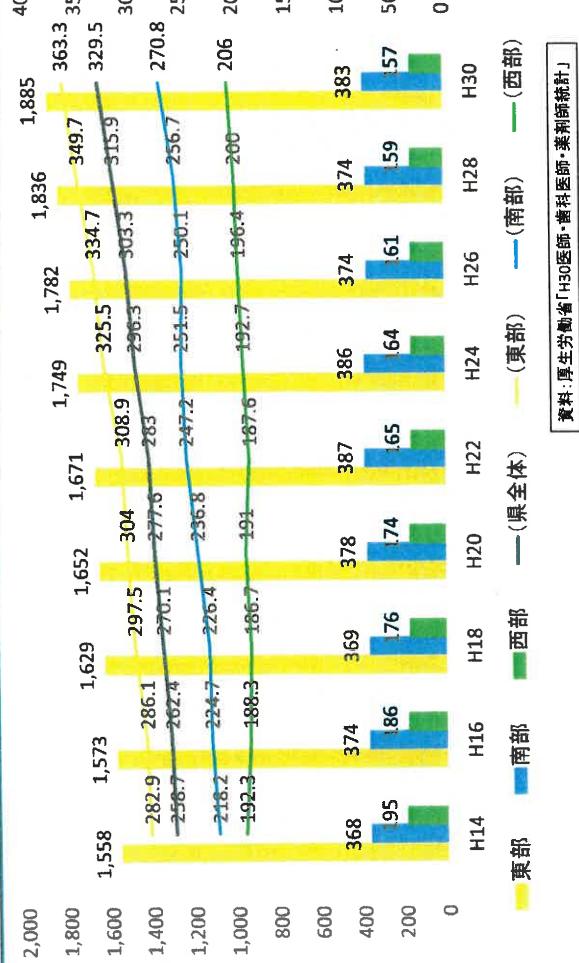
https://youtu.be/SGy6EP_LHPA



新しい「いのち署名」の運動が始まります。たくさん集めましょう。

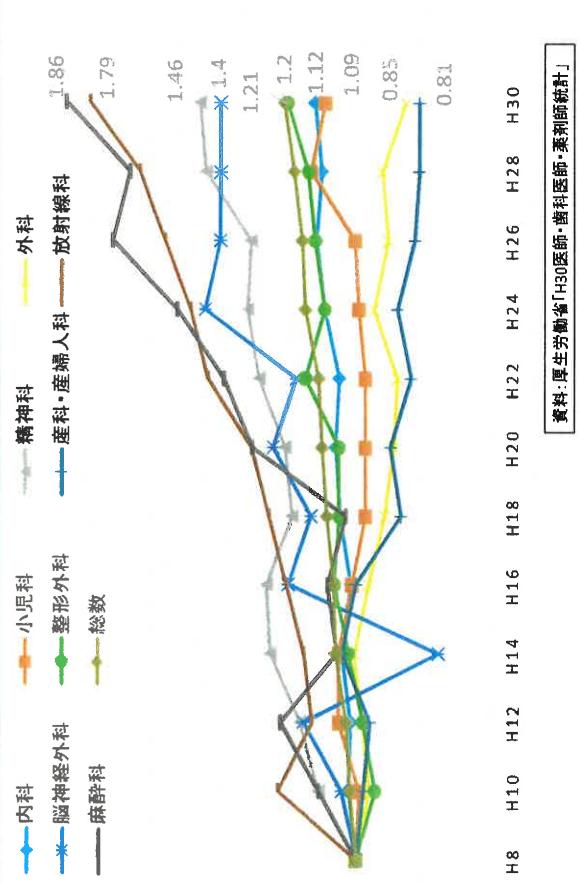
医師の地域偏在は拡大

- 東部圏域に医療施設従事医師の77.7%が集中。
- 人口10万対医療施設従事医師数でも東部圏域(363.3)と西部圏域(206.0)との差は年々拡大。



主たる診療科別医療施設従事医師数の推移

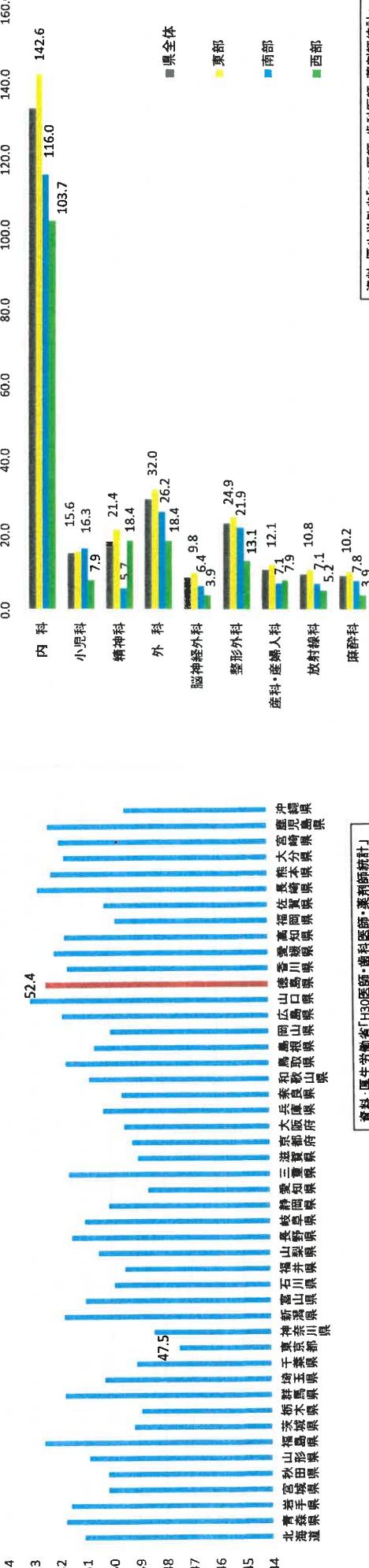
- 平成8年を1.0とした場合、主たる診療科別の医療施設従事医師数の年次推移。
- 麻酔科、放射線科で高い伸びを示す一方、産科・産婦人科、外科で大きく減少。



医療圈ごとの主たる診療科別医療施設従事医師数（人口10万対）

医療施設に從事する医師の平均年齢は、本県では52.4歳となっており、全国平均の49.9歳と比べて2.5歳高く、全国第4位の水準

■ 都道府県別医療施設従事医師の平均年齢



資料:厚生労働省「H30医師・歯科医師・薬剤師統計」

資料:厚生労働省「H30医師・歯科医師・薬剤師統計」

徳島県の現状

人口10万人当たりの医療施設従事医師数
が全国1位の本県においても、診療科偏在が課題
医師不足及び地域偏在・医師不足が課題となつており、解消が必要

これまでの取組み②

(3) 寄附講座の設置

- 寄附講座の設置**　徳島大学に7つの「寄附講座」を設置し、常勤医師の不足する県立病院等を支援

(4) その他

- ① 医師確保のためのネットワーク化
 - ② どくしま医師ハシク事業 → マ・チ・ア・
 - ③ 女性医師等就労支援事業 → 統合・育成 → 両立専門
 - ④ 遠隔画像診断システム

徳島県における医師確保の取組み

これまでの取組み①

- (1) **自治医科大学における医師の養成**

 - ・昭和47(1972)年に全国の都道府県が共同して設立
 - ・各学年定員(2又は3名)…在校生15名
 - ・本県出身入学者数 109名(R3.4.1現在)

(2) **徳島大学における医師の養成(地域特別枠)**

 - ・将来、県内の公的医療機関等の医師として従事しようとする医学部生
 - ・将来、修学資金を貸与
 - ・貸与資金の返還免除の要件として、賃与期間の1.5倍の間、県内の公的医療機関等での勤務が義務付けられる。
 - ・平成19年度の賃与開始以降、令和3年度までに「154名」の学生に賃与
 - ・今後、賃与を受けた義務期間内の医師が、令和6年度には100名を超える見込み



徳島県における医師確保の取組み

今後の取組み

- 徳島県医師確保計画(R2年度～R5年度)に基づく取組み推進
<参考><https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kenko/inyo/5014521>

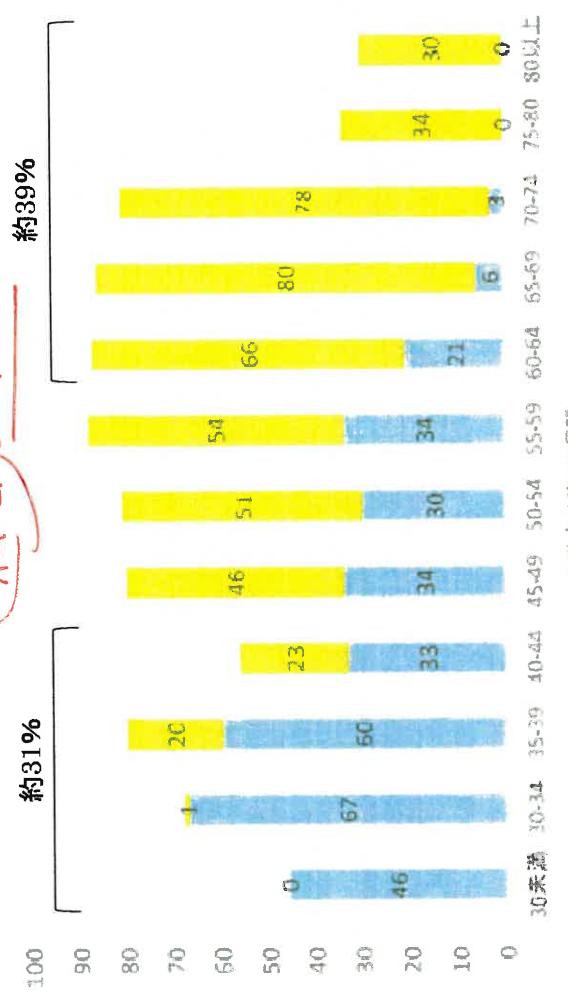
- (1) 自治医科大学における医師の養成
- (2) 徳島大学における医師の養成(地域特別枠)
- (3) 寄附講座の設置
- (4) 臨床研修医の確保・専攻医シーリングへの意見
・臨床研修連絡協議会によるリクルートの取組強化
・若手医師確保のため、専攻医シーリングの見直しを要請

- (5) 遠隔医療の推進
・5Gを活用した遠隔医療の推進

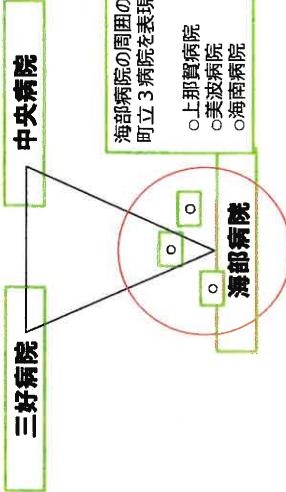
徳島県立・公的病院→民間病院



徳島県における公立・公的病院及び民間医師の状況（内科）



「海部・那賀モデル」



- ・徳島県立3病院の医療連携を
トライアンブルで表現
- ・下段の円は「海部・那賀モデル」の展開
- ・徳島県全域の医療が未来に向かって
発展していくことを祈願

地域医療の輪



「介護ウェーブ 2021」介護の請願署名に取り組みましょう



介護保険制度の抜本的転換を求める請願署名 ～介護をする人・受ける人がともに大切にされる制度へ～



コロナ禍のもとで国民の苦難が広がる中、政府は社会保障の解体をねらう全世代型社会保障改革を着々と進めています。介護分野では不十分なコロナ対策、4月からの介護報酬改定の実施と介護保険料の引き上げ、8月から予定されている補足給付の改悪などのほか、例年早々から開始される次期の介護保険の見直しに向けて、財務省が利用料の原則2割負担化、ケアプランの有料化など前回の見直し（2019年に審議）で先送りされた改悪案を改めて提案しています。

昨年に引き続き、中央社保協、全労連、全日本民医連の三者で、介護の請願署名に取り組むことになりました。各職場に署名用紙を配布しますので、「介護ウェーブ 2021」基本方針の実践の一環として、介護事業所・職員はもちろんですが、介護事業所以外の職員も力を合わせて取り組みましょう。

【請願項目】

1. 安心して介護サービスを提供できるよう新型コロナウイルス感染症対策を強化すること
2. 介護保険料・利用料負担の軽減やサービスの拡充など介護保険制度の抜本的な改善を行うこと
3. すべての介護従事者の給与を全産業平均水準まで引き上げること、その財源は全額公費負担でまかなうこと
4. 介護保険財政における国庫負担割合を大幅に引き上げること

【提出について】

1. 第1次集約 県連締切<県連署> **11月19日(金)**
2. 最終集約 県連締切<県連署> **2022年1月21日(金)**

12月から開催される臨時国会に提出する予定です。なるべく1次集約締め切りに間に合うよう提出してください。署名用紙が不足する場合はコピーしていただくか、徳島県民医連にご連絡ください。



安心して歯科治療を受けられるように！

「保険でより良い歯科医療を」署名に取り組みましょう

歯科医療は「感染症予防」「基礎疾患のある患者の重症化予防」など全身の健康にとっても重要であるとされています。お金の心配なく、すべての国民が歯科治療を受けられるよう、国会に請願署名を提出します。徳島の目標は3,000筆です。一人でも多くの方に賛同いただけるよう、職員全員で取り組みましょう。

【請願署名記入上のお願い】

1. 鉛筆での記入は不可です。必ずボールペン（黒か青）を使用してください。
2. 請願項目のない署名は無効です。（署名は切り離さないでください。）
3. 同一人と思われる筆跡での連續した記入は、国会事務局の請願係で無効となる場合がありますので、ご注意ください。
4. 住所は必ず全部記入してください。（市の名前を省略しないでください。）
5. 苗字が記入されていない署名は無効になります。
空欄や「〃」で記入されている署名は無効です。
6. 修正液などが使用されている署名は無効になります。
7. 署名の複写やFAXでの送信は無効になります。

せっかく書いていただいた
署名が無効とならないよう、ご注意ください。



歯科治療での
ウイルス感染リスクは
高くありません

歯科治療では以前から感染症
防止の大切さが注目され、対策
に努めてきました。歯科医院で
の感染リスクは決して高くあり
ません。

口腔ケアで
ウイルスへの感染や
発症を防ぐ

ウイルス感染や発症を抑えるた
めに、口腔ケアでお口を清潔に
保つことが有效だと、インフル
エンザに効く研究が示されて
います。

歯周病は万病のもと！
コロナ重症化
リスクにも

歯周病は、生活習慣病や、コロナ感
染症重症化リスクとなる疾患の原因
にもなります。歯周病の予防や治療
は、感染症に強い身体づくりに不可
欠です。

「保険でより良い歯科医療の実現」のため、下記の署名にご協力をお願いします。

〔徳島でより良い歯科医療を〕全国連絡会
〒770-0013 徳島市中央区西ノ町1丁目1番地
TEL:087-427-5221 FAX:087-427-5221
Mail:info@yoshihikaku.com

全日本民主医療機関連合会
〒102-0075 東京都千代田区神田錦町2-14 平野ビル2階
TEL:03-3215-3775 FAX:03-3214-4462
Mail:info@ydmj.or.jp

日本医療福祉生活協同組合連合会
〒116-0073 東京都渋谷区渋谷3-1-5 ベンチャーリング5
TEL:03-3471-5811 FAX:03-3434-5811
Mail:info@ymlf.or.jp

保険でより良い歯科医療を 求める請願署名

歯科医療は、「感染症の予防」「基礎疾患のある患者の重症化予防」など全身の健康にとっても重要であると指摘されています。

しかし、新型コロナ感染への恐れや不安・コロナ解雇などによる生活困窮のために歯科医療機関への受診控えが進み、患者・国民の口の中の状況は悪化しています。今こそ、すべての国民が安心して受診できる政策が求められています。

「お金の心配をしないで歯科治療を受けたい」「丈夫で違和感の少ない入れ歯や自然の歯の色に近いかぶせものなどを保険適用してほしい」という患者・国民の要求は切実です。

歯科医療機関では、以前から感染症防止対策を徹底していますが、現在の感染拡大下では、これまで以上の対策が求められています。しかし、現在の低い診療報酬体系では、医院経営はより厳しいものとなっています。また、入れ歯やかぶせものを製作する歯科技工士やお口の中のケアを担当歯科衛生士の評価も低く抑えられています。

感染症予防のためにも、地域で患者・国民が安心して歯科治療を受けられるよう、以下の項目を請願します。

- お金の心配をせず、安心して歯科医療が受けられるよう、窓口負担割合を下げてください
- 健康保険で受けられる歯科治療の範囲を広げてください
- 歯科医療の充実に必要な国の予算を増やしてください

お名前	性別	年齢	（例：女性 45歳以上）
（複数名の場合は、各欄に複数名の氏名を記入してください）			

この書類は、個人情報で保護された形態にもとづいて作成したもので、公的機関の台帳に記録されます。

新型コロナウイルスの感染拡大が怖い、怖い、怖いです。新型コロナに感染した人も、今すぐ治療を必要とする一般の人も、病院のベッドがいっぱい入院できずに、自宅や施設で命を落とす方が出ています。きちんととした治療を受けられれば助かっただけの命です。医師や看護師、介護職、保健師たちは懸命に働いていますが、限界が近づいています。

病床数を削り、医療・福祉従事者を減らす計画は間違っています。私が、この1年半余りのコロナ禍で経験したことを、ぜひお読みください。国民の命と健康を守るために、あなたたった一つのお願いを聞いてください。

三

コロナ禍 私が経験したこと

※どちらかに丸をしてください。

卷之三

菅首相へのたった一つの私のお願い
コロナ禍を生きる努力とハザardsは国民の義務ですが、いつかは
私たちには「現状」通りにしてください。常にトライ&アゲルで
生きては 燐心す。健康で長生きを手伝うに病院介護保育所の充実を
おねがいします。

コロナ禍　私が経験したこと

卷之三

不傳者。不計於人。不守於土。

医師の先生化看護師化小護師化人材の創生の不思議

菅首相へのたった一つの私のお願ひ

卷之三

病院、介護施設、医師看護師保健師、(以下統合)の職員が増強待遇改善を実現するに貢献した。

私は、この問題を解くのに、何時間もかかりました。

私が、この1年半余りのコロナ禍で経験したことを、ぜひ読んでください。そして、**病床数を削り、医療・福祉従事者を減らす計画は間違っています。**
国民の命と健やかな生活を守るために

工具
第二編 設計與製造

卷之三

コロナ禍 私が経験したこと ほとんどが、首相への手紙 公表不可

保健所で“発熱外来”している病院をかか
けたがるが、近くでかつた病院では、かかりた
看護婦さんが予防接種を来て実験まで来て下せり
お医者さんはPCR検査と抗体検査をした結果抗体が
出ていた（陰性で）が、解説、華（ハル）先生は
九万円でかかる。お金の支払い後、ビル側は代
替の駐車場に移った。

卷之三

菅首相へのたった一つの私のお願ひ
「CDナビ」を取り戻された方にも、医療・介護・保健

卷之三

コロナ禍 私が経験したこと

菅首相への手紙（公表可）公表不可

※どちらかに丸ををしてください。

僕島さんはコロナ対応本部の淳二郎接觸者へ又す。7月
セロリ等で、追つアレッアリオさん、御飯神門の本音ヒヤヨク
セイカ、リハビリ等の事の仕事でござり。是れは足が回らぬ
不信感をいまだに抱えます。不審です。

.....

菅首相へのたった一つの私のお願い

国民が安心・安全・充実の生活を送るためには、経済面は気天麗く、行政の方針も、今一度全国民に支持されるべきである。